



この附近はかつて三回四国町とわかれ
たところ、昭和三十九年の住居表
示の改正により芝三丁目となった
四国町の名は明治五年以来公式
にならなもので江戸時代は三回通り帯
を含めていたものがある。その由来は昔
こゝに四国の大名屋敷(河津徳島、土
佐高知、讃岐高松、伊予松山の各藩
邸)があったといわれている。

この地には江戸時代初期以来薩
摩藩の上屋敷があった。慶応三年
(一八六七)明治維新の発端ともいえる
薩摩屋敷の焼打り事件は、つ
明治初年には屋敷あとのあちこ
ちにははらばらや空地が残る
人々は薩摩原と呼んでいた
た